

# 熊本県立大学サブアリーナ屋根改修工事

図面番号	図面名称	縮尺
A-01	建築改修工事特記仕様書（その1）	—
A-02	建築改修工事特記仕様書（その2）	—
A-03	建築改修工事特記仕様書（その3）	—
A-04	建築改修工事特記仕様書（その4）	—
A-05	建築改修工事特記仕様書（その5）	—
A-06	工事概要表・共通事項・付近見取図・配置図	—
A-07	1階平面図（参考図）	A1版：1/100 A3版：1/200
A-08	2階平面図（参考図）	A1版：1/100 A3版：1/200
A-09	屋根伏図	A1版：1/100 A3版：1/200
A-10	立面図（参考図）	A1版：1/100 A3版：1/200
A-11	断面図・屋根断面詳細図	A1版：1/100 1/20 A3版：1/200 1/40

熊本県建築改修工事特記仕様書

I 工事概要

1 工事名称 熊本県立大学サブアリーナ屋根改修工事
2 工事場所 熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号(キャンパス) 地内
3 建築物概要

Table with 6 columns: 建物名称, 構造, 階数, 延面積 (㎡), 消防法施行令別表第1区分, 備考. Row 1: サブアリーナ・CPDホール, RC, 2F, 1,347.58, (7).

※ 建築基準法に基づき定められた風速 (V0) ( m/sec )
※ 建築基準法に基づき定められた積雪荷重 ( )

※ 地震震度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ

4 工事項目 (電気設備工事) ○印を付したものを

Table with 6 columns: 工事項目, 建物名, 1, 2, 3, 4, 屋外. Includes items like 電灯・コンセント設備, 幹線・動力設備, etc.

5 工事項目 (機械設備工事) ○印を付したものを

Table with 6 columns: 工事項目, 建物種別及び屋外, 1, 2, 3, 4, 屋外. Includes items like 空気調和設備, 換気設備, etc.

6 設備概要 (機械設備工事)

Table with 4 columns: 空気調和方式, 主要熱源機, 換気設備, 排煙設備, etc. Details various mechanical systems and their specifications.

※注意事項 ① 工事用資・機材、建設副産物等の運搬をしないこと。
② 運搬を行なっている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
③ 資材等の運搬を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することの無いようにすること。

II 特記事項

1 本工事の契約は、図面及び仕様書に基づき、新行の工事内訳書は参考とする。
2 図面及び仕様書に記載されている製造所及び商品名は、製品の精度を示すもので参考とする。
3 契約締結後工事を遅やかに製造すること。現場代理人及び主任(監理)技術者通知書には、受注者に所員し、かつ、必要資格を有することが確認できる書類を添付すること。

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes sections for 適用基準等, 電子納品に関する事項, 工事実績情報の登録, etc.

Table with 2 columns: 各章共通事項 (1-13), 仮設工事 (14-16), 土工事 (17-19), 仮設工事 (20-22), 仮設工事 (23-25), 仮設工事 (26-28).

Bottom summary table with columns: 熊本県建築改修工事特記仕様書, 公立大学法人熊本県立大学, 建築士事務所名 (一級建築士事務所熊本県知事登録 555号 株式会社 太宏設計事務所), 設計者氏名 (一級建築士 大臣 登録第 366297号 平田 有希雄), 工事名称 (熊本県立大学サブアリーナ屋根改修工事), 図面番号 (R6. S. 17改定, 図面番号 A-01).





Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 28 トイレブース, 29 視覚障がい者用床タイル, 30 階段滑り止め, 31 床目地坪, 32 階段手すり, 33 ブラインド, 34 カーテン, 35 カーテンレール, 36 カーテンボックス, 37 コーナービード(壁ボート出隅保護金物), 38 天井見切線, 39 点検口, 7 1 材料, 7 2 下地調整, 7 3 錆止め塗料塗布.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 4 塗装, 8 の 2 耐震改修工事, 8 の 3 耐震改修工事, 8 の 4 耐震改修工事, 8 の 5 耐震改修工事, 8 の 1 耐震改修工事, 8 の 2 耐震改修工事.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 8 の 2 耐震改修工事, 8 の 3 耐震改修工事, 8 の 4 耐震改修工事, 8 の 5 耐震改修工事, 8 の 1 耐震改修工事, 8 の 2 耐震改修工事.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 2 レディミキストコンクリートの選別, 3 (普通コンクリート)普通コンクリート, 4 (場所打ちコンクリート)壁の増設工事, 3 (場所打ちコンクリート)壁の増設工事.

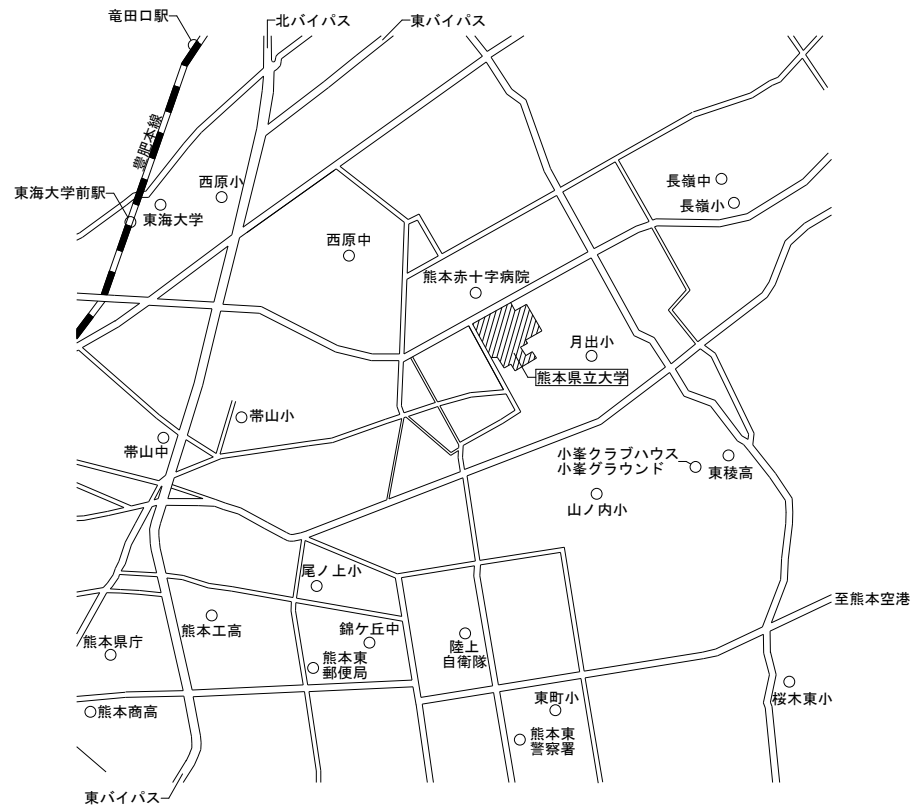


## 工事概要表

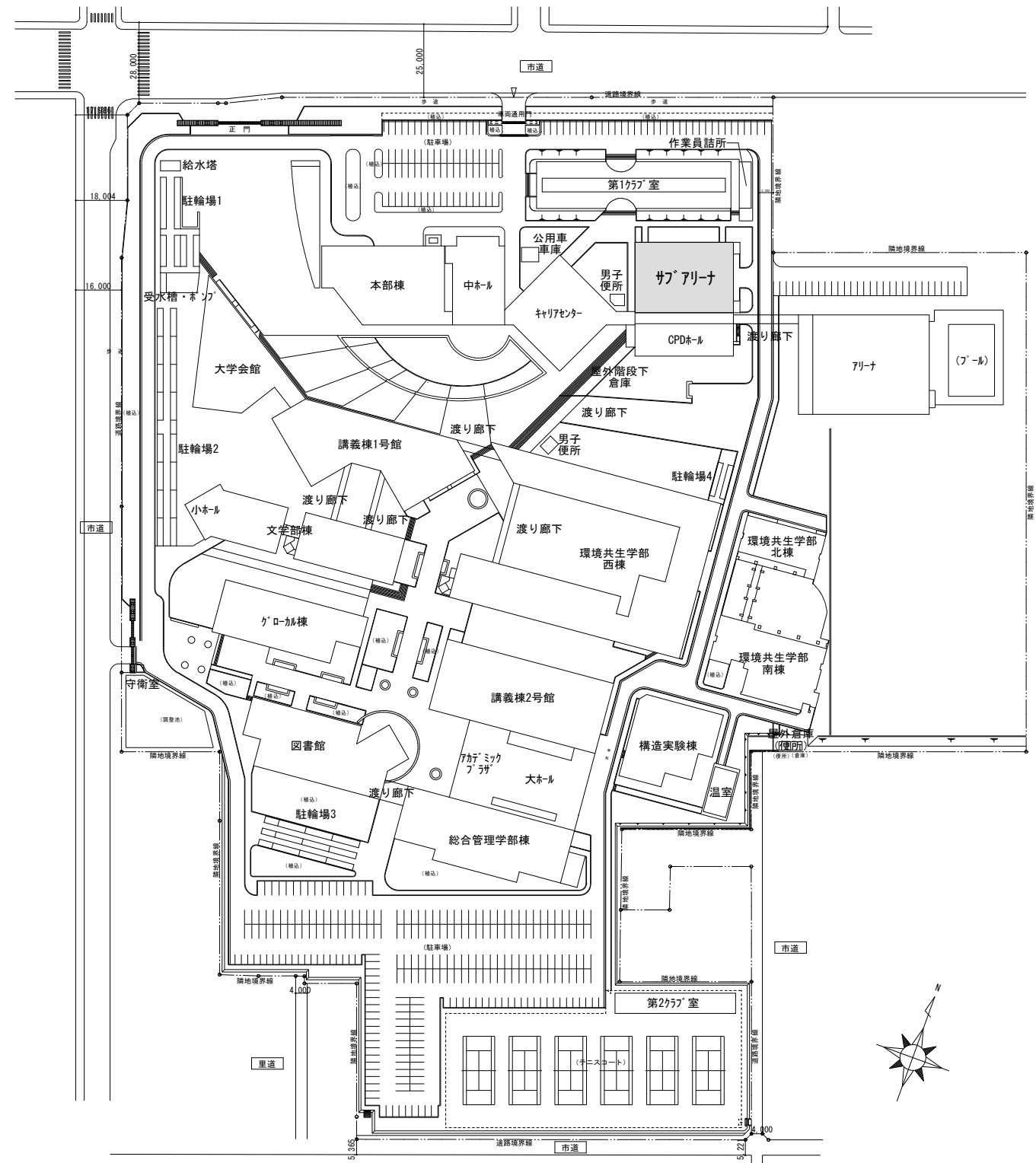
工事名称	熊本県立大学サブアリーナ屋根改修工事
工事場所	熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号（キャンパス）
建築面積	サブアリーナ・CPDホール：1,387.57㎡
延床面積	サブアリーナ・CPDホール：1,347.58㎡
構造階数	RC造 2階建
工事概要	屋根改修工事

## 共通事項

1	工事着手に先立ち現地確認を実施し、学校関係者にヒアリングを行った上で総合施工計画書を作成すること。
2	総合施工計画書には工事使用範囲、及び作業動線、学校使用者の動線を記入した図面を添付すること。
3	工事関係者と学校使用者の動線が重複する箇所の安全配慮を十分に行うこと。
4	学校行事のヒアリングを行い、工事工程の管理を十分に行うこと。
5	各種工事着手に先立ち、施工計画書を作成し、監理者の承認を受けること。
6	本工事に使用する材料は、原則として全てF☆☆☆☆の規格に適合するものとする。
7	工事範囲以外の建物の部分、又は既存工作物を破損した場合は現況復旧とする。
8	仕上げ材料の選定にあつては施工前に監理者及び発注者と十分協議の上決定のこと。
9	工事中に汚染や損傷の恐れのある材料及び箇所は、適切な方法で養生すること。
10	工事着手前に施工数量調査を行い、参考数量との比較を行うこと。
11	工事写真は、図面に記載している改修番号毎に着手前、施工中、施工後の記録を残すこと。
12	工事写真には工事名、位置、年月日入りの小黒板、及び撮影対象には主要寸法が読みとれる目盛を入れること。
13	完成写真は監督員の指示により撮影し、工事写真帳に貼付け、ファイル綴じの上、監督員に2部提出すること。
14	完成写真は、改修部分が改修前と対比できる様に整理すること。
15	防水工事は10年間保証の保証書を提出すること。

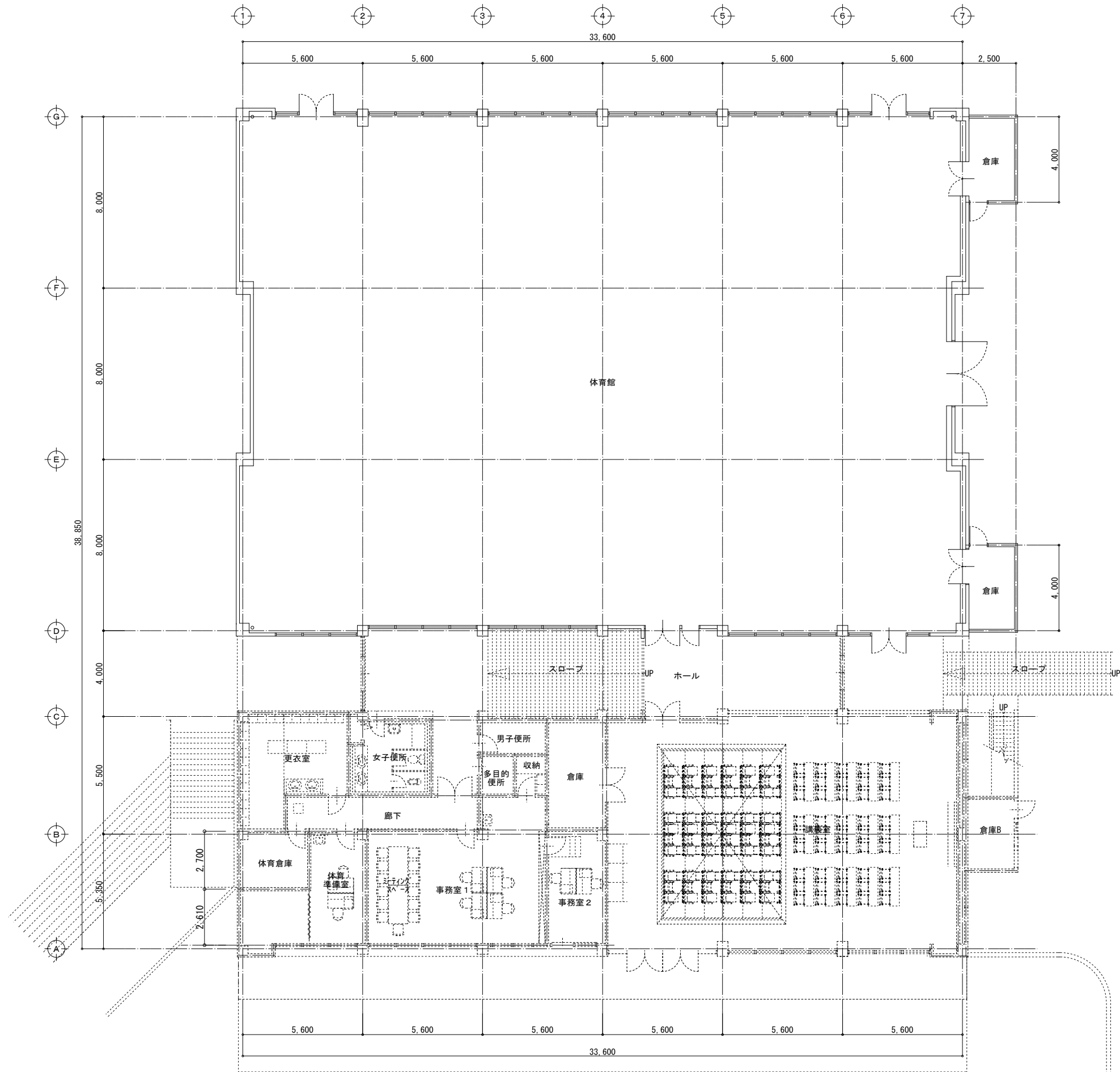


付近見取図



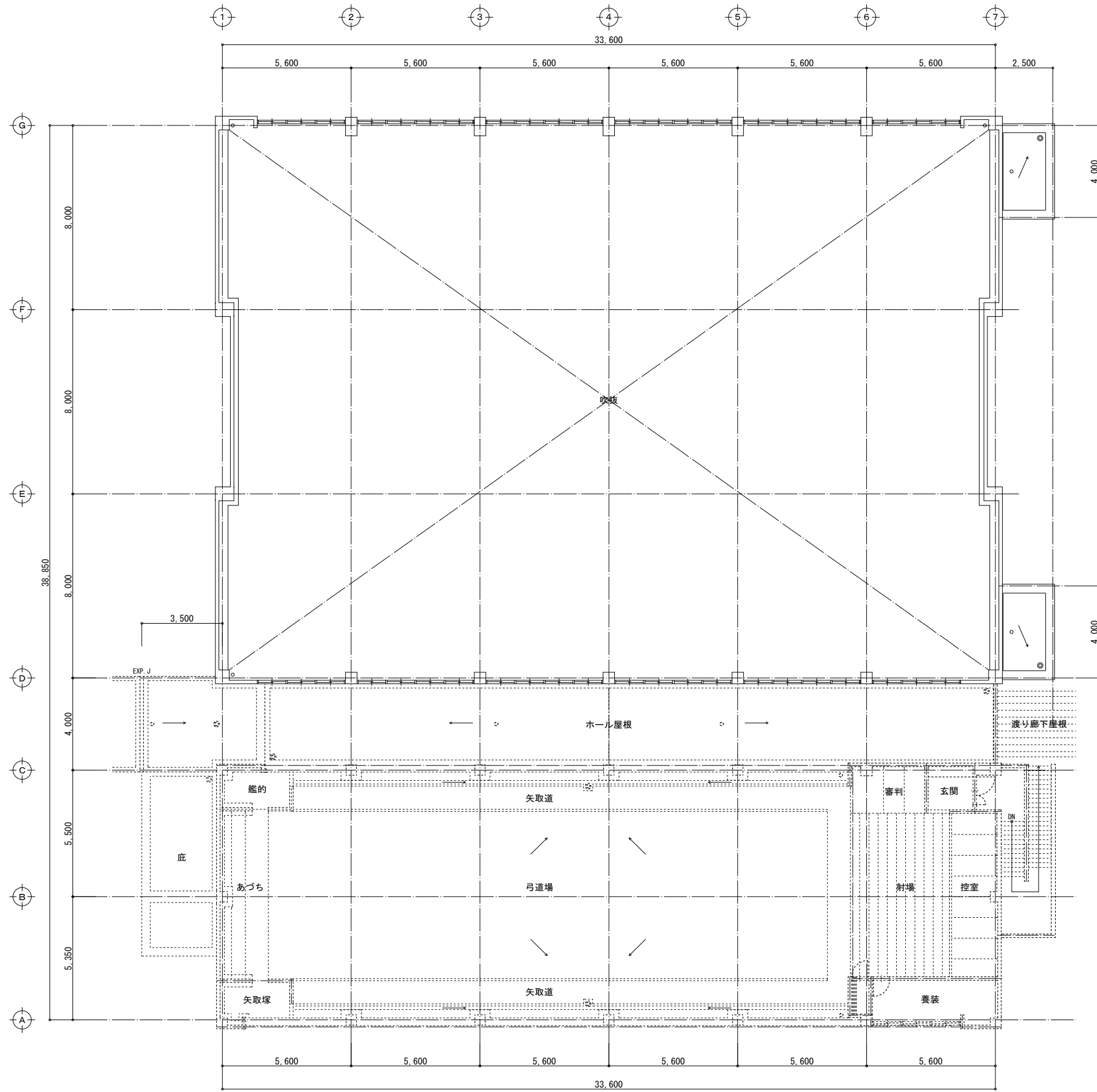
配置図

凡例  
 改修対象建物を示す。

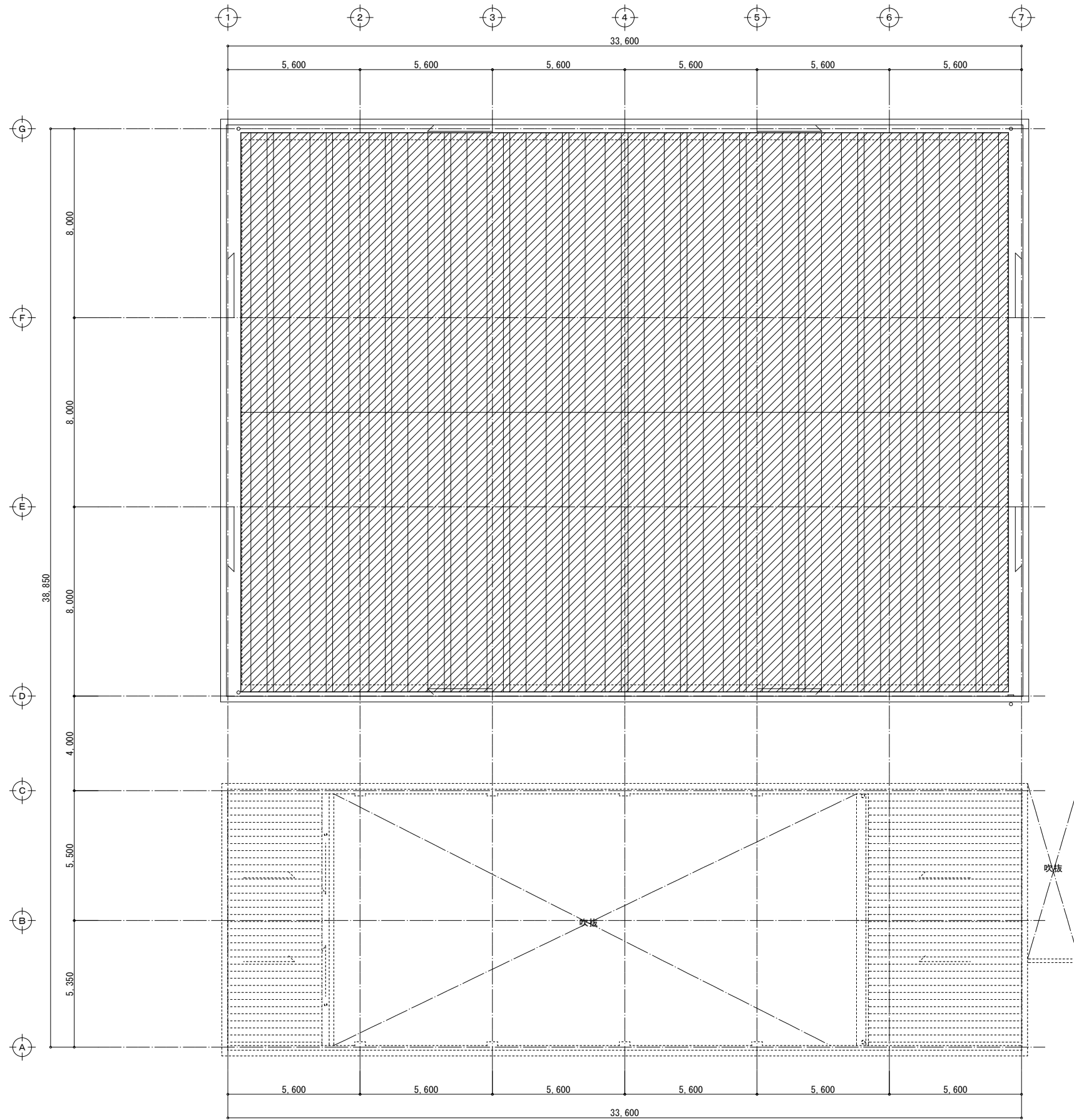


1階平面図






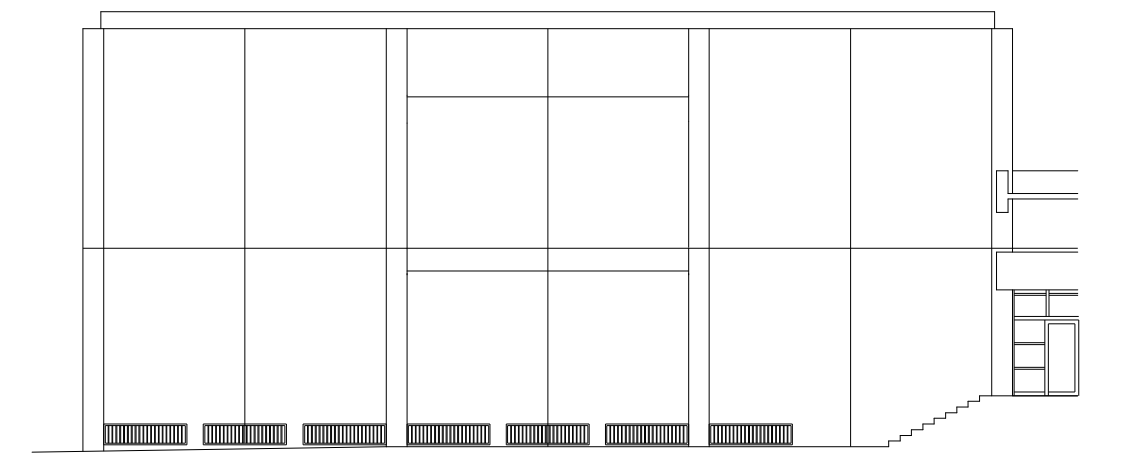
2階平面図



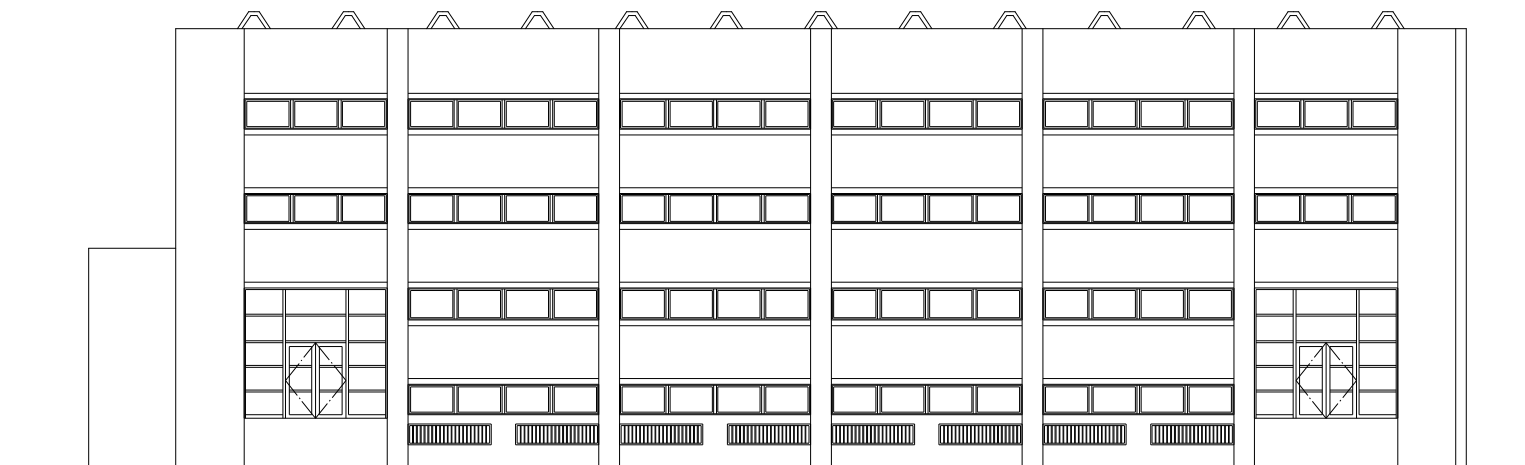
屋根伏図

凡例  
 屋根改修範囲を示す。

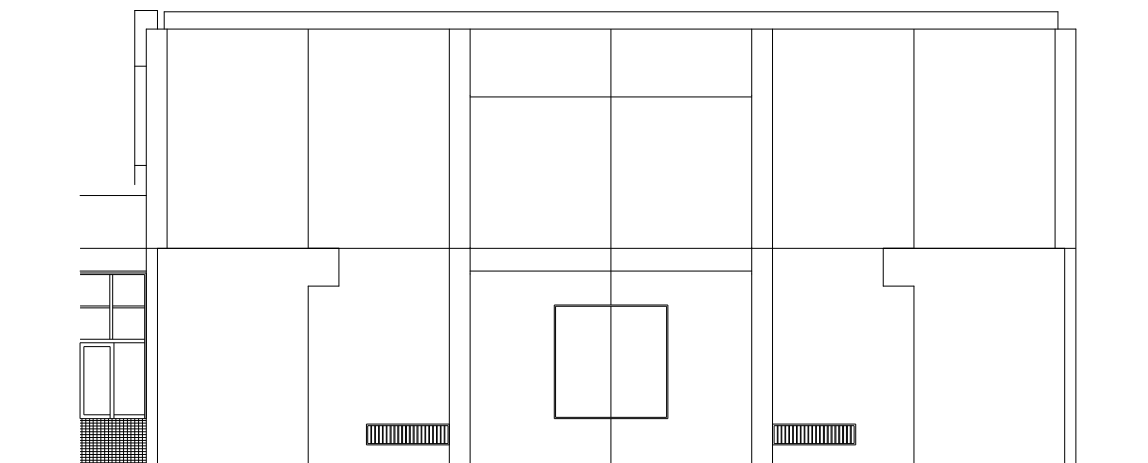
・改修内容  
 ○既存屋根材：コルテン鋼 t=2.5  
 ○改修仕上げ：一液型アクリルゴム系塗膜防水耐水性遮熱トップコート仕上げ  
 (錆転換プライマー仕様) 同程度とする。



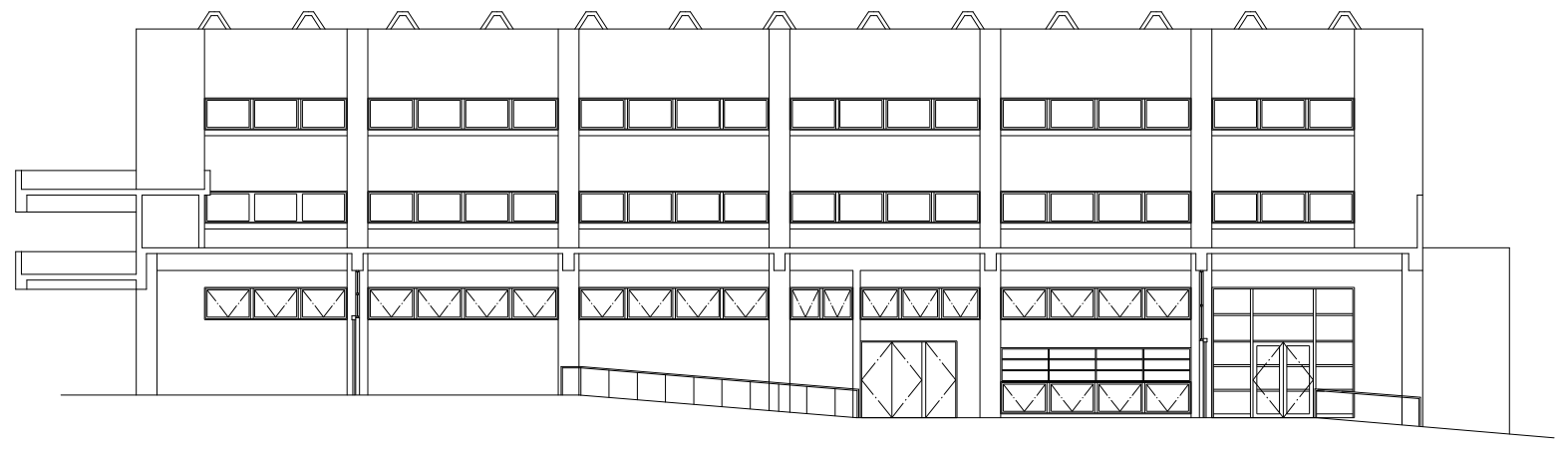
西立面图



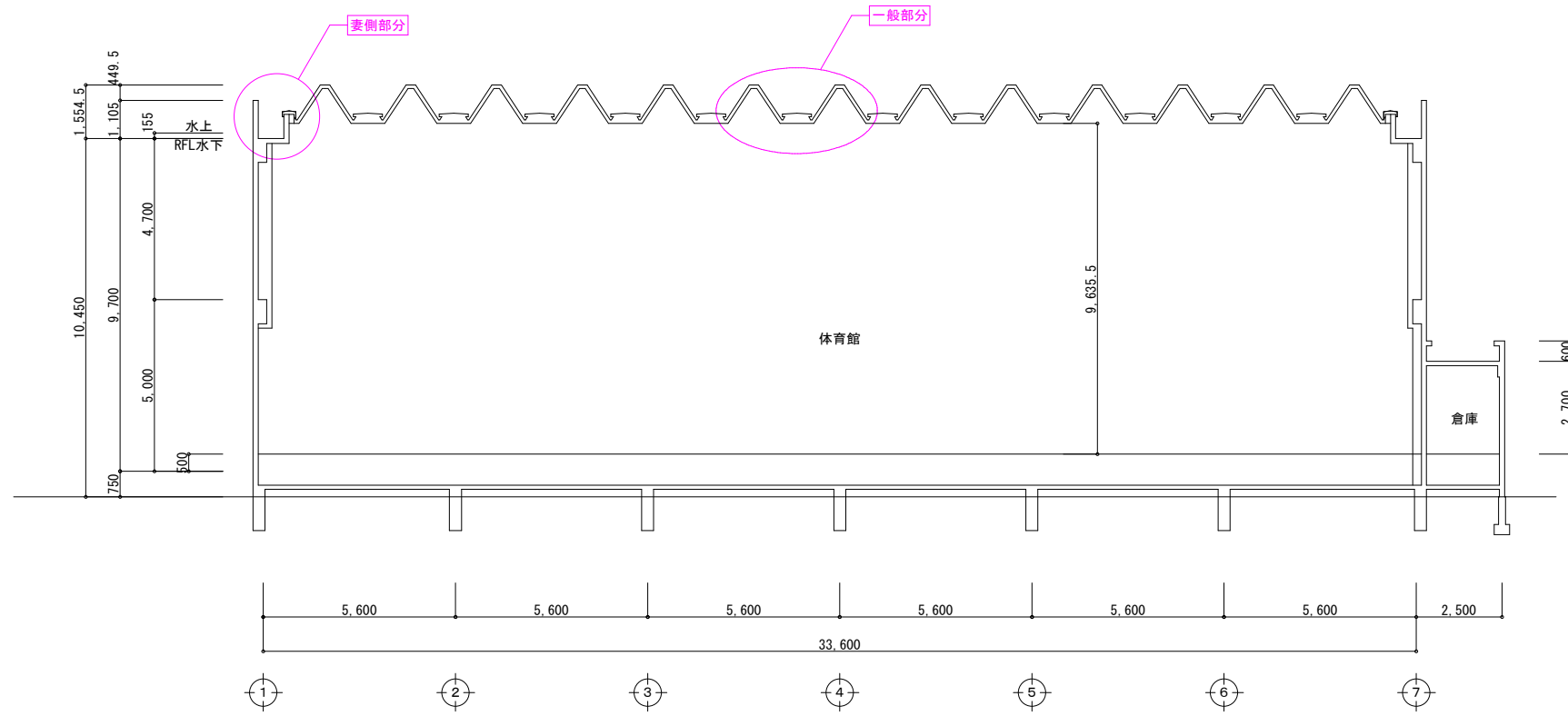
北立面图



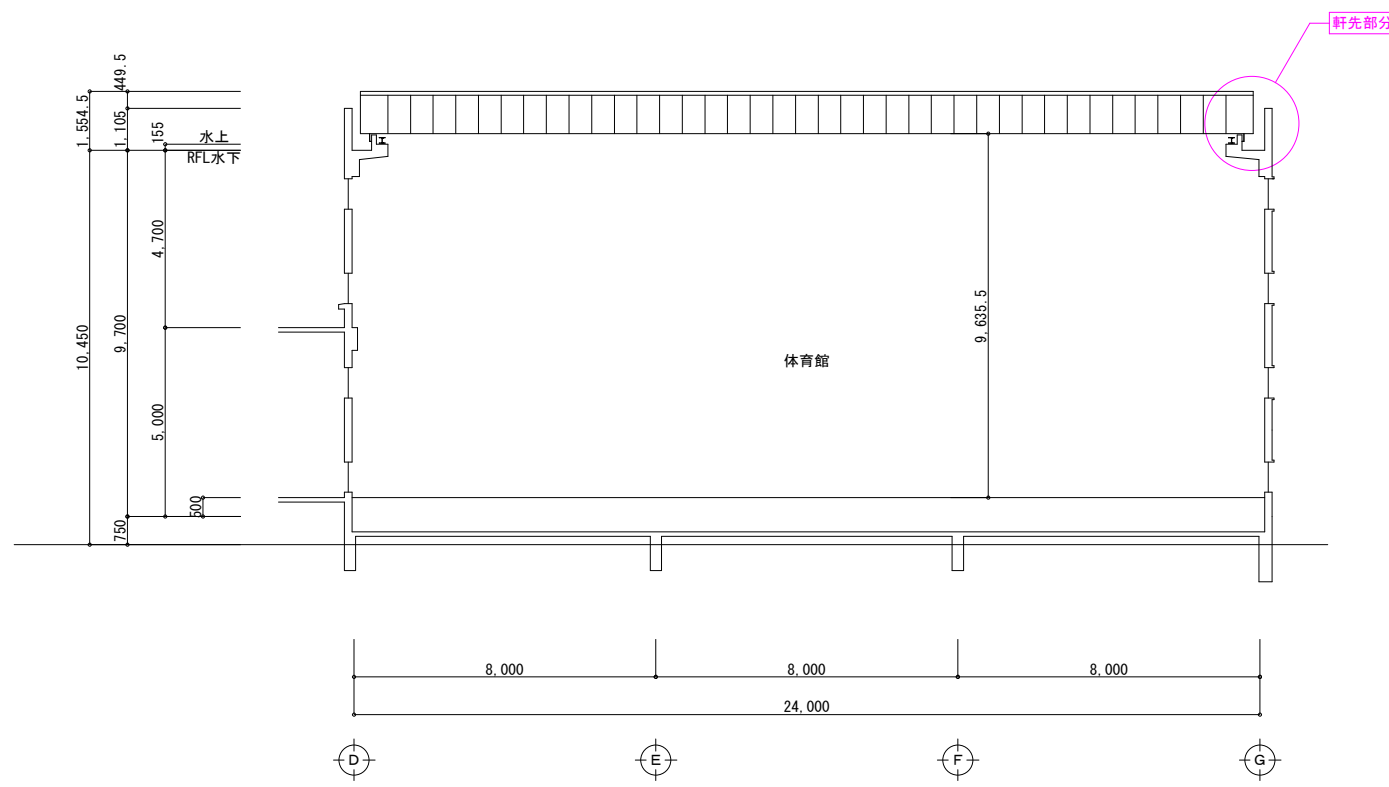
東立面图



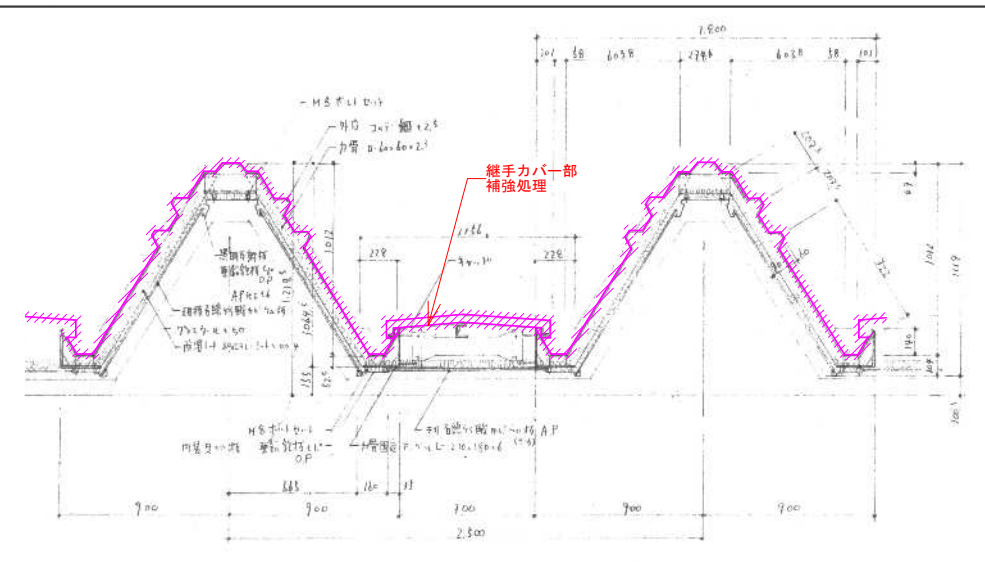
南立面图



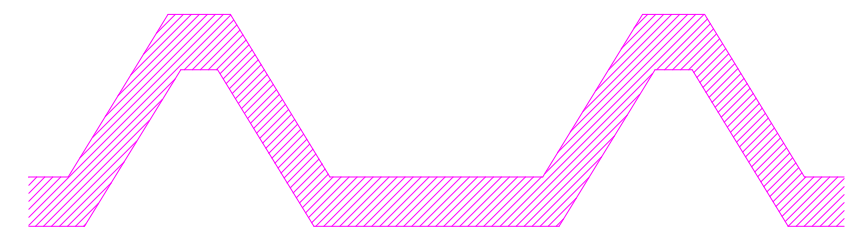
断面図 1



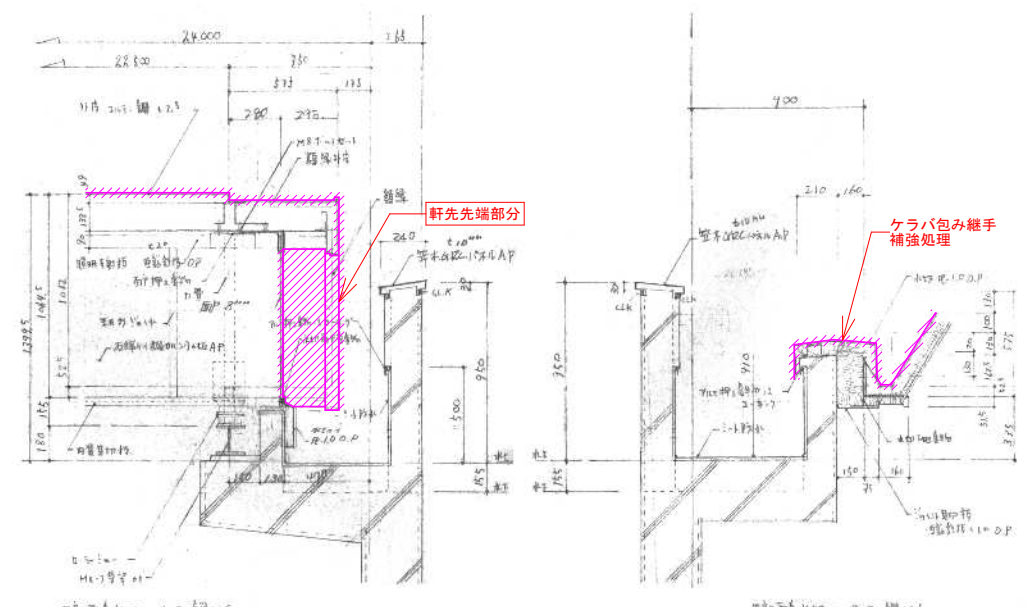
断面図 2



一般部分



軒先先端部分



軒先部分

妻側部分

- ・凡例
  - 改修範囲を示す
- ・改修内容
  - 既存屋根材：コルテン鋼 t=2.5
  - 改修仕上げ：一液型アクリルゴム系塗膜防水耐水性遮熱トップコート仕上げ（錆転換プライマー仕様）同程度とする。

屋根断面詳細図（既存参考図） 1/20